

「あつ太郎」形式 SP-W420-ECN〇〇-〇〇

「あつ太郎」の非常時のタンク水利用方法について

(1) システムフローの⑧逃し弁、排水弁を操作してタンク内の水を利用することができます。

14. サービスマニュアルの手順に従って、①～⑤の作業を行ってください。

水は、⑥の排水弁または⑦の水抜弁から水が出てきますので、バケツなどで水を受けてご利用ください。

最初の数リットルは、配管内に貯まっていた水ですので、捨ててください。

再度お使いになる場合は、「再度お使いになる場合の手順」を参考に、作業を行ってください。

#### 注意

「あつ太郎」のタンク水を利用するには、「あつ太郎」本体で作業する必要があります。屋根上に「あつ太郎」を設置している場合、落下の危険がありますので、お客様が屋根に登ることは避けてください。この作業は、販売店または施工業者にご依頼ください。安全に作業できる場所に設置されている場合のみ、作業を行ってください。

排水口から出るお湯は、高温になっている場合があります。火傷にご注意ください。

タンクの水は、雑水としてご利用ください。飲用する場合は、一度煮沸してからご利用ください。

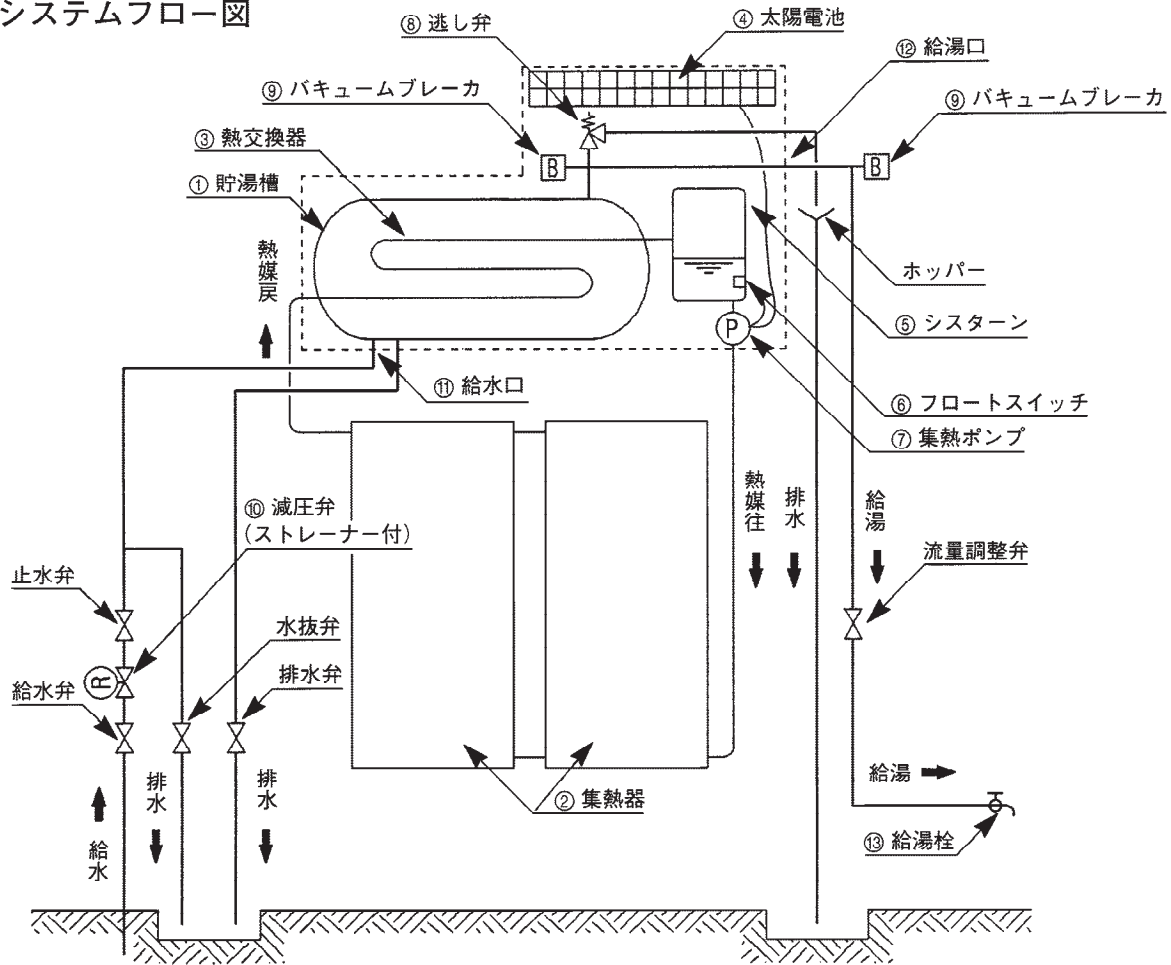
長期間「あつ太郎」を使用していない場合は、飲用に利用しないでください。

逃がし弁を引き上げずに排水すると、貯湯槽が破損する恐れがあります。

# 3. 作動

## 【1】システムフロー

### (1) システムフロー図



### (2) 作動

#### ●給湯の作動原理

⑬給湯栓を開けると、水道圧により湯が出ると共に水は⑩減圧弁を経て、⑪給水口を通り①貯湯槽に入ります。

①貯湯槽に入ってきた水は、③熱交換器により温められて湯になります。

湯は①貯湯槽上部より⑫給湯口を通して⑬給湯栓へ導かれます。

①貯湯槽内部の圧力が高くなると、⑧逃し弁が作動し、槽内の圧力を一定値以下に保ちます。

#### ●集熱の作動原理

⑤シスターン内の熱媒が指定量注入されている場合④太陽電池に太陽光が当たると、⑦集熱ポンプが運転します。

⑦集熱ポンプにより②集熱器に送られてきた熱媒は、太陽熱で温められ、③熱交換器で①貯湯槽の水を温めます。

熱媒が減少すると、⑤シスターン内の⑥フロートスイッチが作動し、⑦集熱ポンプが停止します。

熱媒の通路は、⑤シスターンで大気解放になり、通路内の圧力は温度等に影響されず一定になります。

#### ●貯湯槽の負圧防止

何らかの理由で①貯湯槽内が負圧になった時、⑨バキュームブレーカより空気を取り入れ、①貯湯槽の変形を防止します。

## 14. サービスマニュアル

- ① 給水弁を閉じます。
- ② 貯湯槽上部にあるフタを、6本のネジをゆるめて取り外します。
- ③ 中にある、逃し弁のレバーを上にはき上げます。

**注意**

逃し弁のレバーを引き上げずに排水した場合、貯湯槽が破損する恐れがあります。

- ④ 貯湯槽の右下にあるメンテナンスカバーを、4本のネジをゆるめて取り外します。
- ⑤ 中にある、太陽電池・フロートスイッチと集熱ポンプを接続しているコネクターを取り外します。

- ⑥ 排水弁を開けて水を抜きます。

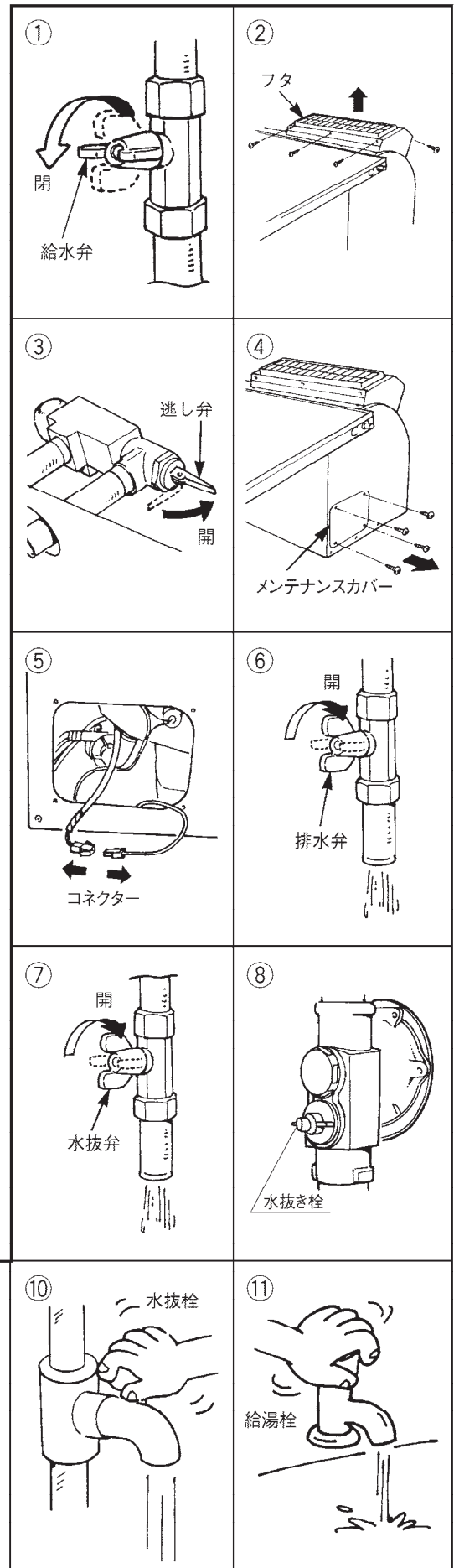
- ⑦ 給水配管の水抜き弁を開けます。

- ⑧ 減圧弁の保温材を外して、水抜き栓を押し込んで減圧弁の中の水を抜きます。

- ⑨ 貯湯槽部外装にあるフタとメンテナンスカバーを取り付けます。

- ⑩ 給湯配管の水抜き栓を開けます。

- ⑪ すべての給湯栓を開けます。



## (再度お使いになる場合の手順)

- ①すべての給湯栓・給湯配管の水抜栓を閉じます。
- ②排水弁と給水配管の水抜弁をすべて閉じます。
- ③給水弁を開けて給水します。
- ④貯湯槽部外装にあるフタとメンテナンスカバーを取り外します。
- ⑤逃し弁の排水口から水が出たら、逃し弁のレバーを元通りに下げます。
- ⑥フタ・フロートスイッチと集熱ポンプを接続しているコネクターを接続します。
- ⑦貯湯槽部外装にあるフタとメンテナンスカバーを取り付けます。

